

## 就労していない保護者にも 子育て支援を

山崎さゆき（大和市議）

平成27年に策定された「大和市子ども・子育て支援事業計画」から今年度末で5年となり、大和市は現在、第二期の計画を策定中です。

この5年で就労する保護者が増え、大和市も保育園の増設に力を入れています。平成27年の保育所数は36施設でしたが現在は68施設と、この5年間で約2倍になりました。大和市の子育て支援は就労する保護者

に重点を置いて  
いるため、「待機  
児童ゼロ」達成  
は大きく報道さ  
れます。

しかし、44%  
を占める就労し  
ていない保護者  
への支援はあま  
り進んでいません。孤独な子育てを  
している保護者への支援は、虐待予  
防の観点からも重要です。

### 一時保育の充実を

就労していない人が対象の「一時保  
育」（緊急的一時保育）は、誰でも、ど  
んな理由でも保育園に子どもを預け  
ることのできる制度です。中央林間東  
急スクエア内の一時保育施設も盛況



で、ニーズが大きいのがわかります。  
市は、必要な時に安心して子ども  
を預けられる状況が整えられるとい  
う理由から、保育園での一時保育の  
充実を計画の中に盛り込んでいます。  
しかしあまり進んでいません。現  
在、緊急的一時保育を実施している  
保育園53園のうち、1年間の延べ実

### 多様な集いの場への支援を

市内には、3カ所の「こどもぐる  
り」や子育て支援センターなど、親子  
で集える場所があり、毎日にぎわっ  
ています。  
しかし、大勢の中に入るのは苦  
手だったり、場所が遠すぎて行け  
ない方もいます。中には支援が必  
要であっても声をあげられない方

## 不登校児童生徒の 成長と学びの場

布瀬めぐみ（大和市議）

### 増え続ける不登校

昨年の文部科学省の調査で、不登  
校の児童生徒数は、6年連続で増加  
しました。大和市では全児童生徒数  
に対する割合が、常に全国平均を上  
回っています。（グラフ参照）

文科省は昨年、「不登校児童生徒へ  
の支援の在り方について」という通知  
で、「学校復帰を前提」という言葉を  
はずしました。過去には、本人の意  
思に関係なく学校復帰を迫る教職員  
や、復学の意味のない児童生徒を受

### 大和市の支援体制

大和市の不登校児童生徒への支  
援は、学校内にはサポートルーム、  
学校外には教育支援教室「まほろ  
ば」が開設され、学校復帰を目標に  
行われています。文科省の新通知へ  
の対応は、内容を教育関係者のみに  
周知するというものでした。支援を  
受ける児童生徒や保護者へは伝わっ  
ていません。

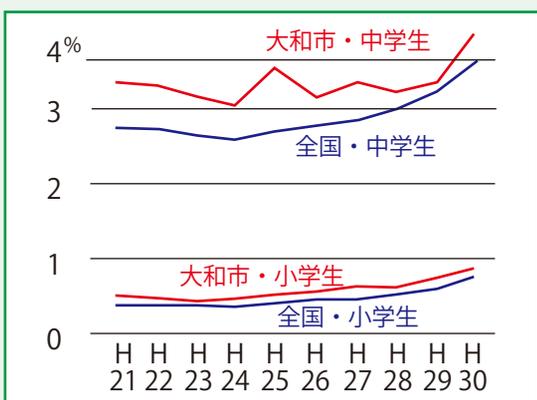
今後は、学校以外の教育支援の  
拡大が期待されていますが、大和市  
内にフリースクールはなく、在宅で

### 必要とされる支援とは

不登校の子どもとその保護者は、  
不安や焦りなど、様々な苦しみを

受けるICT教育等も出席扱いと  
なりません。

不登校児童生徒の割合の推移 「文科省調査データにより作成」



抱えています。休息をし、一人ひと  
りが、ありのままにいられる場所で、  
できるだけ多くの支援を受けられ  
ることが、自立に繋がります。学校  
への復帰にこだわらず、子どもの成  
長や学びの場が保障されることが  
重要です。

不登校児童生徒への支援の目標  
が、学校復帰から社会的自立へと方  
向転換されました。大和市におい  
ても教育の現場で浸透し、支援策が  
検討されなくてはなりません。そし  
て、フリースクール等への就学援助  
と連携の強化、教育支援教室の増  
設、ICT等を活用した学習支援な  
どに、不登校児童生徒の多い大和市  
は、積極的に取り組むべきです。

◇12月議会では他に「子どもも議会につい  
て」質問しました。

◆布瀬めぐみの一般質問は  
ホームページでもご覧にな  
れます。こちらのQRコー  
ドからお入りください。



議会や市政の報告をし皆さんからお話を伺う場です。  
お気軽にご参加ください。(直接会場にお越し下さい)

2月13日(木)	9:30	ポラリス 101会議室
2月21日(金)	10:00	柳橋3丁目 飯塚 ☎267-4591
2月21日(金)	13:30	つきみ野8丁目 宮崎 ☎274-1099
3月7日(土)	11:00	桜丘学習センター 202会議室
3月30日(月)	13:30	つきみ野学習センター 303会議室

おしゃべりサロン  
(議会報告会)の  
お知らせ

◆山崎さゆきの一般質問  
はホームページでもご覧  
になれます。こちらのQR  
コードからお入りくだ  
さい。



◇12月議会では他に「環境問題」外国人の  
就学」について質問しました。

もいます。  
支援が必要な人を支援のできる人  
に繋ぐためには、親子の姿が見える  
場をたくさん作る必要があります。歩い  
て行ける場所で、気軽に相談できれ  
ば、子育ての不安も減ります。  
親子が集える場所を作ろうとする市  
民への支援制度の創設が望まれます。

次号  
まちづくりレポート  
4月発行